

みんなめざす持続可能な食と農

# みどりGXラボ 会員交流会

## ~持続可能な新潮流~

日本農業新聞は、農業の環境負荷低減と脱炭素化を進め、「持続可能な食と農」を目指すコンソーシアム「みどりGXラボ」を7月に設立しました。農家やJA、企業、自治体、研究・教育機関、消費者など、多様な主体の連携に向け、初の会員交流会を開きます。

申し込み、  
詳細はこちら



参加には  
会員登録が  
必要です

2024  
**11.18**月  
14:00~18:30

参加無料

オンラインでも配信します(第3部を除く)

会場 Tokyo Innovation Base

- ・JR「有楽町駅」京橋口から徒歩1分
- ・東京メトロ「有楽町駅」D9出口からすぐ
- ・東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」1出口から徒歩3分

### PROGRAM

配信あり **【第1部】セミナー** 14:05~

「環境再生型農業って、何？」

基調講演



北海道大学  
小林 国之進教授

事例報告



北海道小清水町  
和田 徹氏

配信あり **【第2部】トークセッション** 15:45~

「みどりNEW WAVE」



シゼンタイ  
全国循環型社会協議会代表  
佐伯 康人氏



NEWGREEN  
企画室長  
田中 草次氏



稲作本店  
共同代表  
井上 敬二朗氏・真梨子氏

申し込み〆切  
・会場参加 11月 1日(金) 正午  
・オンライン 11月14日(木) 正午

環境再生型農業(リジネラティブ農業)が目ざれ始めています。不耕起栽培や被覆作物の活用などを組み合わせて土壌を再生し、土壌微生物やさまざまな生態系の力を活用した農業とされますが、まだよく知られていません。同農業に詳しい有識者と、実践する農家にお話を聞きます。

シゼンタイ全国循環型社会協議会(愛媛県伊予市)  
無農薬・無肥料の自然栽培の普及に向け、全国20カ所の「農学校」で指導し、年間約1000人が学ぶ。代表の佐伯康人氏は福岡正信氏や木村秋則氏に師事。

NEWGREEN(東京都小金井市)  
水田の自動抑草ロボット「アイガモロボ」を開発した東京農工大学発のスタートアップ企業。第11回ロボット大賞で農水大臣賞を受賞した。

稲作本店(栃木県那須町)  
那須高原で150年続く米農家。無農薬・減農薬栽培の米をベースに、米粉カヌレやボン菓子の開発、田んぼでキャンパ・カフェなど、「つくる人」と「たべる人」がつながる稲作を目指す。

**【第3部】懇親会** 17:00~

会員同士で自由に交流していただきます。仲間づくり、連携のきっかけづくりにご活用ください。国産、有機食品など、持続可能性に配慮したお菓子やソフトドリンクをご用意します。